

人たちが、古い本をきちんと修理してくれて、
 新しい本のよりにきれいな状態で読めるよう
 にしてくれれます。良い本をわたしたちの代わ
 りに選んでくれます。見つけやすいように本
 を分類整理してくれています。
 便利な図書館ですが、わたしたちの父や母
 が、みんなが少しずつ出し合った税金で作ら
 れ、運営されています。図書館はわたしたち
 人間が作り上げた知識を集大成した知識の宝
 庫というべき貴重な施設といえるでしょう。
 もし、わたしたちが税金を納めるのはい
 やだーと税金を納めなかったら図書館はでき
 ません。本が読みたくなったら、お金を払っ
 て買わなければいけません。学生のわたした
 ちが気軽に本を読むことはできなくなります
 所得の少ない人も本を読むことが困難になり
 ます。調べ物をしたければ、高価な事典を購
 入する必要があるあります。古い本を読みたくな
 ったら古本屋さんを何軒も回ることになるで
 しょう。本から得られるたくさんの役に立つ

知識なしに、生活をしなければなりません。
多くの人から集めたお金で、みんなの役に
立つ施設を作ったり、サービスを提供したり
するのが税金ということを知っていました。
しかし、身近なところで税金がどのように使
われているのかを意識することもありません
でした。図書館のようにわたしたちが使う施
設やサービスも税金から成り立っていると考え
えると、税金が身近な存在に思えてきます。
お金は大切です。わたしたちが生活できる
のも、学校に通えるのも、父や母の収入のお
かけです。しかし、お金は個人が好き勝手に
使っては、無駄遣いが増えてしまいます。税
金という形で、みんなから公平に集め、計画
的に使うと、もっと役立つものになります。
わたしは税金について考え始めたばかりで
す。知らないこともたくさんあります。これ
から少しずつ税金のことを勉強し、将来はみ
んなの役に立てるように、きちんと納税する
大人になりたいと思います。